検　　査　　課

Ⅶ　検査課の業務概要

検査課は、「千葉県検査業務運営要領」に基づき、松戸健康福祉センター（保健所）及び検査課が設置されていない野田健康福祉センター（保健所）の検査業務を行っている。

業務内容は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ予防事業、原爆被爆者対策事業に係る臨床検査及び微生物検査並びに食品衛生監視事業に係る食品衛生検査である。

平成 20 年 11 月から、ノロウイルス検査が新たに検査課業務となり、感染症及び食中毒等の検査における検出の大半をノロウイルスが占める傾向にある。

１　臨床及び細菌検査業務

（１）臨床検査

エイズ対策として HIV 抗体検査 507 件、性感染症対策として梅毒検査 495 件、肝炎対策としてＣ型肝炎ウイルス抗体検査 494 件及びＢ型肝炎ウイルス抗原検査 497 件を実施した。原子爆弾被爆者検診に係る検査として尿検査を 48 件し、また結核菌検査を 55 件、ぎょう虫検査を 10 件実施した。（表１－（１））

（２）細菌検査

平常時対策としての給食施設従事者、食品取扱者及び水道施設従事者等に対する腸内細菌検査を 10,560 件実施した。（表１－（２））

２　食品衛生検査業務

（１）食品細菌検査

食品機動監視課、生活衛生課及び野田健康福祉センター（保健所）健康生活支援課が監視指導を推進するために管内施設等から収去した食品等について、200 検体 1,076 項目の検査を実施した。（表２－（１））

（２）乳類規格試験

野田健康福祉センター（保健所）健康生活支援課が収去した市販の牛乳等について、乳類規格試験を 10 検体 32 項目実施した。（表２－（２））

３　健康危機管理検査業務

（１）感染症発生に伴う検査

健康危機事案である感染症発生時における検査を 235 件実施した。その結果、腸管出血性大腸菌 0157 を 35 件、腸管出血性大腸菌 026 を 1 件検出した。（表３－（１）－ア、イ）

（２）食中毒及び苦情食品等の検査

健康危機事案である食中毒及び苦情食品等の検査を 329 検体 4,571 項目実施した。

その結果、黄色ブドウ球菌 11 件、セレウス菌 1 件、ウェルシュ菌 39 件、カンピロバクター12 件、大腸菌群 1 件、腸管毒素原性大腸菌 0159 1 件、ノロウイルス 137 件、ロタウイルス 25 件、アデノウイルス 11 件を検出した。（表３－（２）－ア、イ）

４　精度管理事業

（１）内部精度管理

（２）外部精度管理

検査結果の信頼性を確保するため、検査の都度行う内部精度管理及び外部機関が行う外部精度管理を実施した。内部精度管理、外部精度管理ともに良好な結果であった。（表４－（１）、（２））

1　臨床及び細菌検査業務

（１）臨床検査

表１－（１）　臨床検査実施状況

（単位：件）

区分			平成27年度	平成28年度	平成29年度	松戸保健所	野田保健所
血液	梅毒	TP法	531	487	495	392	103
		STS法	531	487	495	392	103
	HIV抗体		593	510	507	397	110
	HCV抗体		521	501	494	388	106
	HBｓ抗原		520	501	497	391	106
	その他		－	－	－	－	－
尿	糖		46	47	48	45	3
	蛋白		46	47	48	45	3
	ウロビリノーゲン		46	47	48	45	3
	潜血		46	47	48	45	3
喀痰	結核菌	塗沫鏡検	6	1	10	10	－
		培養	6	25	55	54	1
便	寄生虫	塗沫鏡検	－	－	－	－	－
		ぎょう虫卵	4	2	10	10	－

（２）細菌検査

表１－（２）　平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

（単位：件）

区分			計	給食施設従事者	食品取扱業者	水道施設従事者	その他
平成27年度			11,717	6,740	2,301	1,696	980
平成28年度			10,845	6,304	2,288	1,543	710
平成29年度			10,560	6,368	2,031	1,313	848(1) ※2
	松戸保健所	赤痢菌・ﾁﾌｽ菌・ﾊﾟﾗﾁﾌｽA菌・ｻﾙﾓﾈﾗ属菌※1	3,169	2,360	60	614	135(1)※2
		腸管出血性大腸菌0157	4,853	2,738	1,061	400	654
		その他の菌	－	－	－	－	－
	野田保健所	赤痢菌・ﾁﾌｽ菌・ﾊﾟﾗﾁﾌｽA菌・ｻﾙﾓﾈﾗ属菌※1	711	456	57	164	34
		腸管出血性大腸菌0157	1,827	814	853	135	25
		その他の菌	－	－	－	－	－

※１：サルモネラ属菌は希望者のみに実施

※２：（　　）内は陽性数の再掲：陽性時のみ記載

２　食品衛生検査業務

（１）食品細菌検査

表２－（１）　食品細菌検査実施状況

（単位：件）

区　　分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	松戸保健所	野田保健所
検　体　数		202	198	200	118	82
項　目　数		1,081	1,060	1,076	638	438
項目内訳	細菌数（生菌数）	194	193	194	112	82
	大腸菌群の有無	186	186	187	107	80
	黄色ブドウ球菌	192	191	192	112	80
	サルモネラ属菌	170	167	163	97	66
	腸炎ビブリオ	6	5	5	5	－
	腸炎ビブリオ最確数	26	25	26	10	16
	カンピロバクター	128	128	128	72	56
	E.coli の有無	14	10	8	8	－
	E.coli の最確数	2	2	2	－	2
	腸管出血性大腸菌 0157	157	153	156	100	56
	腸管出血性大腸菌 026	3	－	3	3	－
	腸管出血性大腸菌 0111	3	－	3	3	－
	腸管出血性大腸菌 0103	－	－	3	3	－
	腸管出血性大腸菌 0121	－	－	3	3	－
	腸管出血性大腸菌 0145	－	－	3	3	－

（２）乳類規格試験

表２－（２）　乳類規格試験実施状況

（単位：件）

区　　分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	松戸保健所	野田保健所
検　体　数		10	10	10	－	10
項　目　数		40	32	32	－	32
項目内訳	細菌数（生菌数）	10	10	10	－	10
	大腸菌群の有無	10	10	10	－	10
	比重	5	3	3	－	3
	酸度	5	3	3	－	3
	無脂乳固形分	5	3	3	－	3
	乳脂肪分	5	3	3	－	3

３　健康危機管理検査

（１）感染症発生に伴う検査

表３－（１）－ア　感染症発生に伴う検査実施状況

（単位：件）

区分			事案数	計	便			その他
					経過者・患者	接触者・家族	その他	
平成 27 年度			20	238	79	159	－	－
平成 28 年度			23	103	39	64	－	－
平成 29 年度			35	235	98	137	－	－
	松戸保健所	コレラ菌	－	－	－	－	－	－
		赤痢菌	2	36	4	32	－	－
		チフス菌	－	－	－	－	－	－
		パラチフス A 菌	－	－	－	－	－	－
		腸管出血性大腸菌 0157	27	172	84	88	－	－
		腸管出血性大腸菌 026	1	5	2	3	－	－
	野田保健所	コレラ菌	－	－	－	－	－	－
		赤痢菌	－	－	－	－	－	－
		チフス菌	－	－	－	－	－	－
		パラチフス A 菌	－	－	－	－	－	－
		腸管出血性大腸菌 0157	5	22	8	14	－	－
		腸管出血性大腸菌 026	－	－	－	－	－	－

表３－（１）－イ　感染症発生に伴う検査の検出菌内訳

（単位：件）

区分		事案数	計	便			その他
				経過者・患者	接触者・家族	その他	
松戸保健所	コレラ菌	－	－	－	－	－	－
	赤痢菌	－	－	－	－	－	－
	チフス菌	－	－	－	－	－	－
	パラチフス A 菌	－	－	－	－	－	－
	腸管出血性大腸菌 0157	9	35	24	11	－	－
	腸管出血性大腸菌 026	－	1※	1	－	－	－
野田保健所	検出菌なし	－	－	－	－	－	－

※腸管出血性大腸菌 0157 事案で検出

（２）食中毒及び苦情食品等の検査

表３－（２）－ア　食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

（単位：件）

区分			計	食品	便	吐物	ふきとり	その他
	事案数							
平成 27 年度	70	検体数	581	25	499	－	57	－
		項目数	10,522	475	8,964	－	1,083	－
平成 28 年度	87	検体数	550	2	526	－	22	－
		項目数	6,080	38	5,794	－	248	－
平成 29 年度	60	検体数	329	2	312	－	15	－
		項目数	4,571	4	4,418	－	149	－
項目内訳	コレラ菌		214	－	207	－	7	－
	赤痢菌		214	－	207	－	7	－
	チフス菌		214	－	207	－	7	－
	パラチフス A 菌		214	－	207	－	7	－
	腸炎ビブリオ		214	－	207	－	7	－
	NAG ビブリオ		214	－	207	－	7	－
	ビブリオ ミミクス		214	－	207	－	7	－
	ビブリオ フルビアリス		214	－	207	－	7	－
	黄色ブドウ球菌		214	－	207	－	7	－
	サルモネラ属菌		214	－	207	－	7	－
	セレウス菌		214	－	207	－	7	－
	ウエルシュ菌		214	－	207	－	7	－
	カンピロバクター		214	－	207	－	7	－
	エルシニア エンテロコリチカ		214	－	207	－	7	－
	エロモナス フィドロフィア		214	－	207	－	7	－
	エロモナス ソブリア		214	－	207	－	7	－
	プレジオモナス シゲロイデス		214	－	207	－	7	－
	下痢原性大腸菌		214	－	207	－	7	－
	腸管出血性大腸菌 0157		214	－	207	－	7	－
	腸管出血性大腸菌 026		－	－	－	－	－	－
	ノロウイルス		279	－	279	－	－	－
	ロタウイルス		103	－	103	－	－	－
	アデノウイルス		103	－	103	－	－	－
	大腸菌群		10	2	－	－	8	－
	細菌数（生菌数）		10	2	－	－	8	－
検出菌等内訳	黄色ブドウ球菌		11	－	11	－	－	－
	セレウス菌		1	－	1	－	－	－
	ウェルシュ菌		39	－	39	－	－	－
	カンピロバクター		12	－	12	－	－	－
	大腸菌群		1	－	－	－	1	－
	腸管毒素原性大腸菌 0159		1	－	1	－	－	－
	ノロウイルス		137	－	137	－	－	－
	ロタウイルス		25	－	25	－	－	－
	アデノウイルス		11	－	11	－	－	－

表３－（２）－イ　食中毒及び苦情食品等の検査実施状況
（当年度保健所別・再掲）

（単位：件）

項　　目		松戸保健所	野田保健所
コレラ菌		180	34
赤痢菌		180	34
チフス菌		180	34
パラチフスＡ菌		180	34
腸炎ビブリオ		180	34
NAG ビブリオ		180	34
ビブリオ　ミミクス		180	34
ビブリオ　フルビアリス		180	34
黄色ブドウ球菌		180	34
サルモネラ属菌		180	34
セレウス菌		180	34
ウエルシュ菌		180	34
カンピロバクター		180	34
エルシニア エンテロコリチカ		180	34
エロモナス フィドロフィア		180	34
エロモナス ソブリア		180	34
プレジオモナス　シゲロイデス		180	34
下痢原性大腸菌		180	34
腸管出血性大腸菌 0157		180	34
腸管出血性大腸菌 026		－	－
ノロウイルス		224	55
ロタウイルス		69	34
アデノウイルス		69	34
大腸菌群		－	10
細菌数（生菌数）		－	10
合　　計		3,782	789
検出菌等内訳	黄色ブドウ球菌	10	1
	セレウス菌	1	－
	ウェルシュ菌	28	11
	カンピロバクター	12	－
	大腸菌群	－	1
	腸管毒素原性大腸菌 0159	1	－
	ノロウイルス	128	9
	ロタウイルス	12	13
	アデノウイルス	7	4

４　精度管理事業

（１）内部精度管理

表４－（１）　内部精度管理実施状況

項　　目		実施回数
添加回収試験	細菌数（生菌数）	44
繰り返し試験	細菌数（生菌数）	12
	牛乳理化学	－
陽性対照	腸管出血性大腸菌 0157	18
	腸管出血性大腸菌 026	1
	腸管出血性大腸菌 0111	1
	腸管出血性大腸菌 0103	1
	腸管出血性大腸菌 0121	1
	腸管出血性大腸菌 0145	1
	黄色ブドウ球菌	21
	大腸菌	25
	サルモネラ	18
	腸炎ビブリオ	4

（２）外部精度管理

表４－（２）　外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
一般財団法人　食品薬品安全センター	E.coli 一般細菌数測定 黄色ブドウ球菌 サルモネラ属菌 大腸菌群
千葉県衛生研究所	コレラ菌 ノロウイルス